

としま 区議会だより

平成28年
第3回
定例会

No.253

広報編集委員会
豊島区議会事務局

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1 ☎03(3981)1453 <http://www.city.toshima.lg.jp/kuse/gikai/>
E-mail A0028903@city.toshima.lg.jp

平成28年(2016年)12月1日発行

平成27年度 決算を認定

平成28年第3回定例会は、9月9日から10月28日までの50日間にわたって開会されました。

今定例会では、平成27年度一般会計及び3特別会計決算等の審議が行われ、決算4件を認定したほか、区長提出議案9件を可決、議員提出議案は2件を可決し、報告2件を了承しました。

請願・陳情は、2件を採択、4件を不採択、5件を閉会中の継続審査としました。



決算特別委員会の様子

その他 326億8,678万円(23.3%)
利子割交付金、配当割交付金、地方特別交付金、自動車取得税交付金、基金繰入金、繰越金など

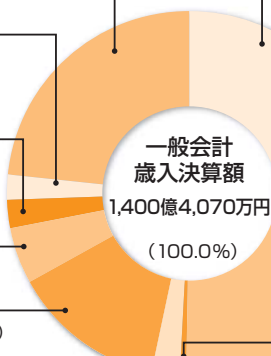
特別区債 27億4,100万円(2.0%)
施設の建設経費を賄うために国などから借り入れる資金

諸収入 35億5,331万円(2.5%)
各種貸付金の元利収入、受託事業収入など

都支出金 72億4,153万円(5.2%)

国庫支出金 188億3,189万円(13.4%)

※数値については、単位未満を四捨五入してあるため、総数と一致しない場合があります。



特別区税 311億1,946万円(22.2%)
特別区民税、軽自動車税、特別区たばこ税、狭小住戸集合住宅税

地方譲与税 4億3,595万円(0.3%)

地方消費税交付金 83億6,145万円(6.0%)

特別区交付金 306億7,831万円(21.9%)
都区間・区間相互の財源の均衡化を図り、特別区の効率的・自主的な運営を確保することを目的として交付されるもの

分担金及び負担金 8億7,830万円(0.6%)

使用料及び手数料 35億1,273万円(2.5%)

一般会計歳入歳出決算の内訳

諸支出金 419億5,737万円(30.7%)
各種基金への積立金、特別会計への繰入金などの経費

公債費 41億1,177万円(3.0%)
特別区債の元利償還などの経費

教育費 99億4,940万円(7.3%)
小中学校、幼稚園、図書館の運営などの経費

文化・商工費 39億2,152万円(2.9%)
文化・芸術、商店街・中小企業の振興などの経費

土木費 50億8,844万円(3.7%)
道路、公園などの整備、自転車対策、緑化推進などの経費

議会費 8億5,827万円(0.6%)
区議会の運営などの経費

総務費 158億767万円(11.6%)
戸籍事務、区民事務所運営、防災対策などの経費

福祉費 437億3,868万円(32.0%)
高齢者・心身障害者福祉、生活保護、保育園の運営などの経費

衛生費 34億6,333万円(2.5%)
各種健康対策、保健所の運営などの経費

環境清掃費 37億2,030万円(2.7%)
廃棄物収集、リサイクル推進、環境保全事業などの経費

都市整備費 41億87万円(3.0%)
まちづくり、区営区立住宅の管理などの経費



平成27年7月24日の政令改正により、池袋駅を中心とした地域が、地元の悲願であった特定都市再生緊急整備地域に指定され、豊島区では池袋駅周辺地域再生委員会を発足、本年7月には「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」を策定し、年内には都市再生安全確保計画を策定する予定となっている。

池袋駅構内の安全性の確保についての意見書

(内閣総理・厚生労働大臣あて)
1 介護保険制度における要介護軽度者への給付の見直しについて利用者の声を十分に反映させること。

事項について強く要望する。
2 広場機能と橋上駅舎を有する「東西デッキ」の実現

(東日本旅客鉄道株式会社・西武鉄道株式会社代表取締役社長、東武鉄道株式会社取締役社長、東京地下鉄株式会社・株式会社そごう・西武代表取締役社長、株式会社東武百貨店代表取締役CEO、株式会社バルコ代表執行役社長、株式会社池袋ショッピングパーク代表取締役社長あて)

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

1 池袋駅地下通路の安全性の向上
2 広場機能と橋上駅舎を有する「東西デッキ」の実現

(衆・参議院議長、内閣総理・国土交通大臣、東京都知事あて)

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

可決した意見書等(要旨)

地下通路は、駅乗降客に加え、大規模商業施設の買物客や東西を行き来する人など、高齢者や障害者等も多く利用しており、有事の際は悲惨事を招くことは明らかである。

よって、豊島区議会は、以下の支援を強く求める。

1 池袋駅地下通路の安全性の向上

2 広場機能と橋上駅舎を有する「東西デッキ」の実現

(衆・参議院議長、内閣総理・国土交通大臣、東京都知事あて)

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

池袋駅構内の安全性の確保について、以下の池袋駅構内の安全性の確保に向けた整備の推進にご協力いただくよう要望する。

主な掲載内容

議案等の審議結果一覧	2面
区政のここが聞きたい ～一般質問(要旨)～	3～6面
常任委員会Q&A/ 決算特別委員会	7～8面

○：可決（認定、了承）に賛成　×：可決（認定、了承）に反対

議案等の概要と審議結果			自民党 豊島区議団 (14人)	公明党 (8人)	日本共産党 (6人)	民主ネット (5人)	刷新の会 (1人)	無所属元気の会 (1人)	社民党 (1人)	結果
番 号	件 名	概 要								
認定第1号	平成27年度豊島区一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額：1,400億 4,070万 3,933円 歳出決算額：1,367億 1,762万 8,692円	○	○	×	○	○	○	○	認定
認定第2号	平成27年度豊島区国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額： 373億 578万 9,757円 歳出決算額： 359億 5,504万 2,879円	○	○	×	○	○	○	○	認定
認定第3号	平成27年度豊島区後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額： 58億 9,670万 9,930円 歳出決算額： 55億 3,601万 5,443円	○	○	×	○	○	○	○	認定
認定第4号	平成27年度豊島区介護保険事業会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額： 191億 4,451万 7,033円 歳出決算額： 187億 780万 992円	○	○	×	○	○	○	○	認定
報告第5号	専決処分の報告について	相手方の工場内において、工場見学引率中の区の職員が過失により工場内ドアガラスに衝突し、破損させた事故について、区が相手方に損害賠償金を支払うこととした和解の専決処分を報告する。	○	○	○	○	○	○	○	了承
報告第6号	平成27年度決算における健全化判断比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成27年度決算における健全化判断比率を報告する。	○	○	○	○	○	○	○	了承
第66号議案	豊島区立男女平等推進センター条例（一部改正）	豊島区立男女平等推進センターに保育室及び授乳室を設置するとともに、研修室の使用料を改める。	○	○	○	○	○	○	○	可決
第67号議案	池袋第三小学校改築工事請負契約の一部の変更について	工事請負契約の一部変更により契約金額を改める。	○	○	○	○	○	○	○	可決
第68号議案	池袋第三小学校改築に伴う冷暖房換気設備工事請負契約の一部の変更について	工事請負契約の一部変更により契約金額を改める。	○	○	○	○	○	○	○	可決
第69号議案	特別区道路線の廃止について	一般交通の用に供する必要がなくなったため、本路線を廃止する。	○	○	○	○	○	○	○	可決
第70号議案	平成28年度豊島区一般会計補正予算（第5号）	補正予算額： 1億 331万 9,000円 補正後の額：1,237億 4,578万 5,000円	○	○	○	○	○	○	○	可決
第71号議案	平成28年度豊島区一般会計補正予算（第6号）	補正予算額： 17億 8,796万 6,000円 補正後の額：1,255億 3,375万 1,000円	○	○	×	○	×	○	○	可決
第72号議案	平成28年度豊島区国民健康保険事業会計補正予算（第3号）	補正予算額： 13億 1,047万 1,000円 補正後の額： 381億 9,047万 2,000円	○	○	×	○	○	○	○	可決
第73号議案	平成28年度豊島区後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）	補正予算額： 3億 6,674万 6,000円 補正後の額： 61億 6,611万 9,000円	○	○	○	○	○	○	○	可決
第74号議案	平成28年度豊島区介護保険事業会計補正予算（第1号）	補正予算額： 4億 4,930万 3,000円 補正後の額： 205億 5,557万 6,000円	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第15号	介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の見直しに関する意見書	1面をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第16号	池袋駅構内の安全性の確保についての意見書	1面をご覧ください。	○	○	×	○	○	○	○	可決

請願・陳情の審議結果		自民党 豊島区議団	公明党	日本共産党	民主ネット	刷新の会	無所属元気の会	社民党	結果
28請願第1号	池袋駅構内の安全性の確保についての請願	採択に賛成	採択に賛成	採択に反対	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択
28陳情第2号	垣内信行議員の祭礼の寄附に関する発言の真相究明とけじめに関する陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続審査
28陳情第14号	豊島区の乳がん検診の対応強化と検査時の安全対策の強化と高濃度乳腺という言葉の周知度を高めるための追加工夫を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択
28陳情第15号	全国の約百個の自治体が啓発済みか、または今後啓発の検討をしている昭和56年の6月以降の新耐震木造住宅の中にも耐震強度が足りない住宅が含まれている問題について豊島区内での啓発の強化を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択
28陳情第16号	豊島区が木造住宅の柱や壁が上下階で、そろっている確率を意味する柱直下率や壁直下率の重要性について、区民に参考情報提供という形で積極周知することを求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択
28陳情第17号	豊島区民が目事故に巻き込まれないように、いろいろな方法で周知徹底を図ることを求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択
28陳情第18号	豊島区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続審査
28陳情第19号	東京都豊島区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続審査
28陳情第20号	豊島区における受動喫煙防止に関する陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続審査
28陳情第21号	介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修に関し国に意見書を求める陳情	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択
28陳情第22号	南長崎 5 丁目20に建設予定の東京都認可保育園についての陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続審査



推進大会の様子

10月18日、千代田区の砂防会館別館において開催された第27回東京都道路整備事業推進大会に、本区から、議長、副議長及び7名の議員が参加しました。国会、政府及び東京都に対し、道路整備や関係施策の促進を強く求める宣言と、連続立体交差事業等の整備促進等、8項目を要望する決議を行いました。

東京都道路整備事業推進大会に参加



長崎平和祈念像前にて

被爆71周年の長崎原爆の日である8月9日、長崎市平和公園で行われた長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に、本区から竹下ひろみ議長・西山陽介副議長及び5名の議員並びに宿本尚吾副区長が参加しました。国内外からの多くの参列者とともに、原爆死没者の霊を慰め、恒久平和の実現を祈念しました。

長崎平和祈念式典に参加

区政のここが聞きたい

第3回定例会一般質問(要旨) 9月13・14日

※本会議、常任委員会、特別委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

「豊島の未来への展望」6 住み続けられるまちづく



自民党豊島区議員
星 京子

●区政と都政の連携について

問 小池百合子東京都知事の誕生を区長はどのように受け止めたのか。

答 共に歩んできた地元の区長として、全面的に応援してきた。知事の熱い思いが、多くの都民の支持を広げた結果と受け止めている。

問 都と区の協同関係、区政と都政の連携等、今後の方向性は。

答 小池都政と豊島区政は共通点が多く、都とさらなる連携を図り、区の課題解決のスピードアップを図る。

●区財政の状況について

問 一時的な特殊要因である決算項目を除いた今回の決算は。

答 人件費比率、公債費負担比率いずれの指標も通減傾向にあり、財政の健全化が進んだ。

問 今後の財政運営は。

答 投資的経費の財源を、少しでも生み出せるよう、効率的な行政の執行に徹していく。

●東京オリパラとしま「心のバリアフリー」を目指して

問 東京オリンピック・パラリンピックに向けての文化プログラム事業と区の取組は。

答 都が基幹事業と位置付ける東京芸術祭を開催。2020年に向けて国際アート・カルチャー都市実現戦略として整理する。

問 オリパラに関する知識や国際理解、言葉の壁をなくすための取組は。

答 国際理解、国際的人材育成、多文化共生につながる取組を、庁内横断的に検討する。

問 パラリンピックの精神を、子どもたちにどのように学ばせるのか、その目的と内容は。

答 目的は、真の共生社会の実現を目指すことにあると認識。本年度から、全幼稚園、全小学校でオリンピック・パラリンピック教育をスタートした。

問 障害スポーツ大会を競技場で観戦する機会の設置は。

答 感動や夢、希望を抱かせる臨場体験が重要と認識。観戦の機会が設けられるよう都とも協議を進めていく。

問 ボランティアの育成に向けた取組は。

答 社会福祉協議会等と連携し、ボランティア養成講座を開催するなど、育成に努めていく。

●ワークスタイル改革について

問 働きやすい環境、働きがいがある環境づくりの改革は。

答 旧態依然とした組織文化や個人の意識を変革していく取組が必要。イクボス宣言を機に、改革に取り組んでいく。



としまイクボス宣言

問 女性のための起業支援の展開は。

答 仕事と家庭を両立できる環境など、個々の事情に沿ったサ

ービスが重要。女性にやさしいまちづくりの施策として進めていく。

●次世代育成支援について

問 特定不妊治療の他区との状況と、都の助成を受ける組数は。

答 今年度、11区で公費助成を実施。都から助成を受けている区のご夫婦は約300組と推定。

●まちづくりの課題について

問 新ホール整備の方向性は。

答 誰もが快適で安心して鑑賞できる施設であることなどを目指し、計画を進める。

問 新ホールと新区民センターの整備にあたり、一体的で効率

住み続けやすいまち豊島をめざして



公明党
中島 義春

●平成27年度決算について

問 今後の投資事業の計画は。

答 旧庁舎跡地に建設する新ホールの整備や不燃化特区推進事業を核とした防災まちづくりなど、事業費は今後5年間で969億円と見込んでいます。

問 財政調整基金を活用した起債の抑制について、見解は。

答 経済の激変が立て続けに起きた場合にも耐えられるよう、最低でも120億円の積立額が必要だと考えています。

問 区は保育士のために借り上げた宿舍の助成を行っているが、助成の条件として、賃貸物件の所在地は区内に限定されるのか。

答 区内に限定せず、通勤可能な範囲としている。

問 病児保育の活用現状と、住民ニーズを捉えた病児保育の具体的な取組は。

答 27年度、区内病児保育施設4か所の稼働率は約3割だが、

的な施設運営ができるように取り組んでいるか。

答 一体的な運営を行うことを通じて、旧庁舎跡地におけるプロジェクトを牽引する存在として、精力的に取り組んでいく。

問 池袋西口公園のステージの補修等の早期実施は。

答 限られた予算の中で、効果的かつ早期に整備を行う。

●上池袋郵政宿舍跡地について

問 跡地の子育て支援施策への活用は。

答 認可保育施設の設置の必要性が高い地域と認識。取得に向けて、積極的に努力を続ける。

問 認可保育施設の設置の必要性が高い地域と認識。取得に向けて、積極的に努力を続ける。

問 病児保育の需要は高まっていく。事業の周知を引き続き行うとともに、病児保育の充実に努める。

●住宅施策について

問 空き家実態調査及び所有者アンケート調査の内容は。

答 区内全域を対象に調査員が現地調査を行う。表札の有無等から空き家かどうかを判断し、地図情報を含む台帳を作成する。

問 空き家と判断した戸建て住宅や、空き室が一定割合を超えた賃貸住宅の所有者を対象にアンケート調査を行い、空き家の発生原因、今後の利活用の意向等を把握する予定である。

問 空き家対策への専門家の協力については。

答 専門家団体と協力して、空き家の所有者が抱える課題の解決を検討していく。

問 「空き家バンク」の統一化への取組については。

答 統一的な空き家・空き地バ

ンクシステムが整備されれば、利活用の機会が拡大し、流動性が高まる。登録件数を増やすため、空き家実態調査の結果を踏まえながら、所有者に対して意識啓発に取り組む。

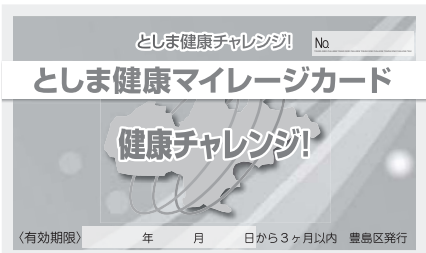
問 空き家の利活用を促進するための条例化の検討については。

答 空き家の所有者に対して利活用を促す仕組みや、建築士や工務店など利活用を担う側の登録制度などの検討を進めている。

●健康施策について

問 草津市では、特定健診を受けるごとにポイントが付与され、ポイントをQUOカードに交換できる仕組みがある。特定健診を受ける魅力的な動機づけの検討について、見解は。

答 区は27年度にマイレージ制度を導入した。ポイントを利用できる店舗も参加者数も増加しており、当面は現在のスタイルを継続したい。



としま健康マイレージカード

問 28年度より、区医師会が独自に21歳から29歳、31歳から39歳までの方を対象にピロリ菌検査を開始した。がん検診の現状に対する評価は。

答 本年6月から8月までの3か月間で、受診者は810名。医師会のご尽力により、新たな健康管理に大変効果を上げていると

考えている。

●その他

問 感震ブレイカーの必要性和設置助成を含めた、今後の普及策は。

答 夜間の感震ブレイカー作動時の暗闇を防止するための簡易照明と合わせて、木密地域への簡易型の感震ブレイカーの普及・設置を促進するための新たな

平和と安全、区民のくらし優先の区政に転換せよ



日本共産党
小林ひろみ

●平和に対する区長の姿勢について

問 23区で最初に非核都市宣言をした豊島区の区長として、東京都に対し、宣言実施を求めよ。

答 宣言は、各自治体の自主的な意思や判断によるものであり、宣言の実施を求める考えはない。

問 南池袋公園の紹介パンフレットには、園内設置の「豊島区空襲犠牲者哀悼の碑」、「被爆アオギリ2世」の記載がない。これらを記載し、積極的にアピールして、豊島区から戦争放棄、核兵器廃絶を強く発信すべき。

答 パンフレットは見やすく、公園に訪れていただくよう写真メインに作成した。現地には、「哀悼の碑」、被爆アオギリの「由来板」を設置し、平和への強い思いを伝えている。

●2015年度決算と今後の財政運営について

問 この年度決算規模は過去最大となった。税収が伸びた分は、区民のくらし福祉の充実に活用すべき。267億円にもなる財政調整基金を活用し、保育園などの待機者解消等、区民需要にこたえよ。

な補助制度を検討していく。

問 豊島から世界に文化情報発信が可能な拠点として、旧庁舎跡地施設の中心となる新ホールに、8K対応の施設を導入することについては。

答 実施設計では、8K対応の通信ケーブルや機器を使用する場合においても対応可能とできるよう設計を進めていく。

答 景気衰退時の区民サービス水準の維持には、数年間は耐える財政調整基金残高が必要。基金の区民福祉向上への振替は、事業効果等の検証や将来負担等も考慮し、実施していく。

問 大きな増加が見込まれる投資的経費のうち、新ホール・新区民センターなど旧庁舎跡地及び周辺整備の資金計画、起債の償還計画を示せ。

答 整備経費158億円については、現時点で金額が固まっていない。金額が固まった段階で区債発行額が決まり償還計画も作成する。

問 東西デッキは、これまで区が整備するとなっていたが、池袋駅周辺の基盤整備としてすすめることになった。基本構想の内容が変わるのではないか。

答 これまでの進め方と大きく変わるものではない。緊急整備地域指定のメリットを活かし、関係事業者と調整を進め、効果の高いプランを模索する。

問 民間の開発に合わせてデッキをつくると、総事業費や費用分担等も民間の言いなりの計画となるのではないか。

答 東西デッキは、関係事業者

との連携・協働が不可欠であり、区の財政負担も留意しながら、関係事業者と調整する。



平成 27 年度決算書

●保育と学童クラブの質の向上について

問 待機児解消のため認可保育園が必要。区が土地を取得し、区立保育園を作るべき。国に建設費の補助を要請すべき。

答 私立保育園の方が柔軟な保育サービスで、設置スピードも速い。積極的に私立保育園を設置していく。土地を取得して区立保育園を作る考えはなく、建設費の補助の要請もしない。

設立当初の目的を達成した豊島健康診査センターは抜本的な経営改革をせよ！



民主ネット
藤本きんじ

●豊島健康診査センターの経営改革について

問 医師会の先生方に依存した営業体質であり営業の努力を怠っていたのでは。特に交通の不便さは以前より把握されていたはずなのに、なぜ今まで何も策を講じてこなかったのか。

答 健康診査センターのホームページでバスの時刻表にリンクを貼るなどの工夫をしている。

問 以前より検査時間の延長を提言してきた。急な検査依頼にも対応できているとは言えない。

にも保育園には一定の広さが必要。国基準への引下げなど規制緩和での詰め込みはやめるべき。

答 一律に国基準にはせず、個別の園ごとに具体的な施設構造や職員体制を踏まえた上で、緩和できることは緩和していく。

問 学童クラブの利用者が増えている。100人を超える学童は正規職員2名の態勢にすべき。

答 現在2名の配置がない施設については、来年度に配置予定。●就学援助と各種手当について 3月に支給できるよう、入学生支度金の支給時期を前倒しすべき。

答 7月末に支給しているが、実態に即した合理的な処理方法が想定できるか、今後検討。

問 区の制度である児童育成手当の支給回数を増やすべき。

答 児童扶養手当は4、8、12月、児童手当と児童育成手当は6、10、2月に支給しており、児童に係る手当の支給全体では既に一定の配慮がされている。

問 M R Iについて、稼働率向上への工夫を重ねていく。

問 検査料が民間より高いという意見が多い。将来まで継続的に利用して頂ける競争力がない。

答 将来の検査体制のあり方を含めた検討をしていく。

問 電子カルテに未対応であり、検査結果はC Dで送られてくる。入力し直すのに大変な手間が掛かる。改善の余地はないのか。

問 お役所体質、天下り等という意見についての見解は。

答 黒字化等、一定の効果は出ているが広く周知できていない。点は反省しなければならぬ。

問 毎年の補助金と施設の無償貸与で経営されている。抜本的な経営改革が必要と考えるが。

答 公共施設に準じた拠点としての意義を認めつつ、経営の最適化への評価をしていく。

問 医療法人社団に変更し出資者や外部の力も借りてはどうか。

答 選択肢の1つとして検討し、最適な方策を追求していく。

問 営業部門等を民間に業務委託しインバウンド需要等も喚起する必要があるのでは。

答 その可能性を検討していく。



豊島健康診査センター（5階・6階）

●空き家の未然防止対策による特別区民税の増収施策について

問 国の中古住宅購入時リフォーム補助金制度に上乗せで区独自のリフォーム補助金制度を創設し空き家の未然防止対策を。

答 二重補助による補助金返還が無いようにするための制度設計等難しい課題もある。今後の国の動向を注視していく。

問 上乗せリフォーム補助金制度で転入者を増す事で特別区民税の増収が期待できるのでは。

答 増収確保に繋がると考える。上乗せ部分の工事の施工業者を区内業者に限定し区内事業

者の受注・振興効果を図るべき。

答 効果は期待できるが区内業者が選ばれる方法等課題もある。

●ふるさと納税等を利用した新劇場ホールおよび新区民センターへの寄付の募集について

問 新ホール、新区民センター等、区の施策に対し税制優遇のある寄付で支援が頂けるよう多様な受け入れ態勢が必要では。

答 寄付に依存した施設整備には抵抗がある。

問 ふるさと納税制度を利用し寄付者の名前を施設へ刻印する等、広く寄付を集めてはどうか。

答 「住民参加型市場公募地方債」の発行が藤本議員の提案にそえると考えている。

問 一般寄付とパソコンやスマートフォンでも手続きができる、ふるさと納税の2本立てで受入れ態勢を整えることが有効では。

答 「ガバメント・クラウド・ファンディング」も検討していく。

問 企業からも寄付を募ってはどうか。また、新ホールのネーミングライツスポンサーの募集も検討してみても。

答 寄付の受け入れは歓迎する。ネーミングライツの募集は庁内検討チームを立ち上げる。

●行政ミスと勤務成績の関係について

問 名前の誤記載その他、最近職員のミスが多く「たるんでい」と感じる。災害時等命に関わるような事にもなりかねない。

答 故意又は重大な過失により、公務の運営に著しい支障が生じた場合は非法、違法の程度に応じた懲戒処分により責任を取る。

問 責任の所在が曖昧なのが原因。人事評価に行政ミス等のマイナス評価も含めるべきでは。

答 ミスは業績に反映され要因

に応じ能力や態度にも反映される人事評価制度となっている。

●豊島区立体育施設の使用料（個人利用）免除規定の公平性の矛盾について

問 ひとり親家庭は区内の体育施設が全て無料で利用できるが、生活保護のひとり親家庭は医療証の関係で全て有料である。他のひとり親家庭と同様無料に統

未来においても、輝ける豊島区を目指して！

●仮称豊島区新ホールについて

問 現在計画されている新ホールにおいて、博多座と久留米シティプラザが参考になる部分は、

博多座では演者の最大のパフォーマンスを引き出せるよう、舞台装置を準備する姿勢が、久留米シティプラザでは誰もが自由に利用できるスペースが広く設けられ、市民の憩いの場となっている点が参考となった。

問 新区民センターを子育て世帯が新しいコミュニティを形成するような場所としていくべきと考えるが。

答 2階部分にはパブリックトイレのほか、交流スペース、授乳室、おむつ替えスペースなどを配置した子育て世帯向けのパママ・スポットを整備。

問 舞台道具の搬入口についてどれ位の規模を考えているのか。

答 11トンクラスの大型搬入車両2台が入庫できる十分な大きさを備えている。

●熊本地震について

問 熊本地震において区が学んだことは、それは今後、区の防災という観点においてどのような生かされるのか。

一すべき。来年度予算で拡充を。

答 ひとり親家庭医療証が免除の条件で違和感はあるが、提案のように生活保護受給のひとり親家庭には免除を検討する。

問 医療費助成制度に基づく医療証があることを条件、準用している施策が他にもないか。

答 今後、全庁的に調査し、確認の上、対応していく。



刷新の会
ふるぼう知生

答 職員の派遣等を通じ、多くの教訓を得ることができた。今後は、物流体制の確立とホテル旅館を活用した福祉救援センターの補完施策の実現に力を注ぐ。

●リノベーションまちづくりについて

問 日の出優良商店会をリノベーションまちづくりの手法を生かして街の再生に取り組むべきと考えるが。

答 不動産オーナー等への意識啓発を進めるなど、機運の醸成に努めていく。



日の出優良商店会

●子宮頸がん予防ワクチンについて

問 ワクチン接種後の健康被害を訴える集団提訴の事実についてどのような見解か。

答 ワクチン行政の難しさを改めて痛感したと同時に被害に苦しむ方々の解決につながることを願う。

豊島区民が区割りに関係なく投票できる「共通投票所」の、いち早い設置を！



無所属元気の会
小林 弘明

●西武百貨店、東武百貨店における期日前投票所の成果と今後について

問 西武、東武百貨店での期日前投票所の利用者の割合は、

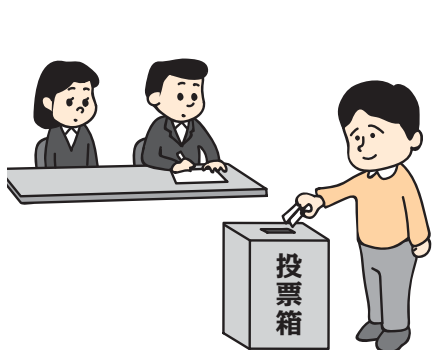
都知事選においては、期日前投票者数は前回の約2.1倍であり、23区中1番の伸びを示した。そのうち、西武、東武百貨店における期日前投票所を利用した割合は、49・9%である。

問 実施した結果の所感及び今後について、区の見解は。

答 西武、東武百貨店での期日前投票所開設は非常に有効であり、今後も継続していきたい。

●共通投票所実現へ向けての現状と今後の取組について

問 人口規模が同じ函館市の事



期日前投票

次世代へ繋ぐまちづくり、豊島



自民党豊島区議団
芳賀 竜朗

●池袋駅西口再開発と周辺まちづくりについて

問 「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」を具体化するための今年度の取組は。

答 今年7月に策定した「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」に基づき、関係事業者との協議を加速し、個々の事業の実現を図る。

問 東京オリンピック・パラリンピック開催までに、着実に実現する事業は何か。

答 2020年までに、新たな

しむ方々の解決につながることを願う。

例を参考にすれば、低予算で二重投票を防ぎつつ「共通投票所制度」を実現でき、周辺地域の活性化にもつながると思うが、区の見解は。

答 地域特性に応じた比較・調査を行い、豊島区にとって望ましい状況となるよう検討する。

問 西口再開発の実現に向けての課題は何か。また、この再開発を成功させるための特区の必要性と可能性、地域貢献について、区の考え方は。

答 最大の課題は再開発エリア内の都市基盤の計画を定めること。また、特区は有効な制度であり、大いに活用すべきと考えている。地域貢献の具体例としては、東西デッキやバスターミナルの整備が考えられる。

問 西口駅前広場は、再開発の中でどのような交通機能を提供するのか。

答 現在設置している交通機能を確認するとともに、立体的な活用も検討する。

●補助173号線の整備について

問 29年度末の供用開始までの工事内容は。

答 28年度は、池袋図書館から谷端川緑道までの区間約335mにつき、排水路の整備等を行う。29年度は全線において、舗装工事、植栽工事を行う。

●民泊について

問 違法民泊について、区の対応は。

答 近隣等からの苦情に対し、職員が現場を確認し、営業者への指導等を行っている。警察とも連携し、旅館業法の適用を厳正に行っていく。

問 旅館業法によらない「新たな民泊サービス」の検討状況は。

答 国の動向を注視しているところである。報道では民泊の宿泊日数の緩和を決めたとのこと。

問 民泊新法による、一般住宅を活用した民泊サービスと、リノベーション活用空き家対策との関係について、区の考えは。

答 新法では、住居専用地域でも営業可能となる模様。その場合でもリノベーションは、空き家を利用し地域の経営課題を解決するための有効な手段である。



民泊の利用

「豊島の未来にむかって」

●食品ロス削減について

問 最近の取組状況は。

答 広報で特集記事を掲載。女子栄養大学と共催事業で対策講座を開催。意識啓発を行う。

問 家庭への意識啓発と共に飲食店への取組は。

答 事業者に対して、区の特性に応じた取組を検討。

問 余っている食品を持ち寄り、フードバンクなどに寄付する



公明党
ふま ミチ

フードドライブのブースをフードフェスタに設けては。

答 啓発ブースの中での実施可能性を検討する。

●オリンピック・パラリンピック教育について

問 区内の小中学校での特色ある取組は。

答 障害者スポーツの体験を通じて、障害者理解を深める学習に取り組んでいる。スポーツ用義

足体験授業、パリンピアノとの交流授業なども予定。

問 オリンピック・パリンピックは文化の祭典でもある。我が国の文化を学ぶ機会を増やすべきだが。

答 おもてなしボランティア活動を提案して、各小中学校と共に計画的に実践。伝統工芸の手作りの温もりや魅力を感じ取れる児童・生徒の育成を進める。

問 差別を排除し、心のバリアフリーをひらく学習指導のさらなる充実を望むが。

答 パリンピックのレガシーとして、心のバリアフリーが児童・生徒に根付いていくよう努める。

●読書活動について

問 子どもの豊かな心の育成のために、将来的には学校司書の常勤化をめざし、拡充を。

答 今年度スタートした兼務発令による学校図書館司書配置の実績や司書教諭との連携の在り方等について、十分な検証を行い検討していく。

問 音声図書づくりを担うボランティアの募集の周知徹底や研修の充実。また大活字本を地域の公共施設に設置するなど、読書がより身近になる配慮を。

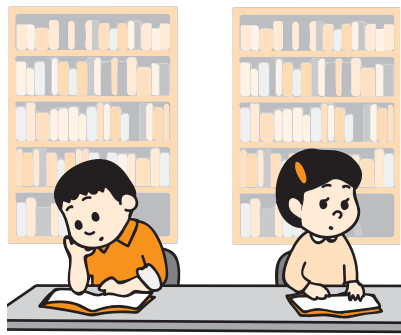
社会保障の拡充で、安心して住み続けられる区政へ

●後期高齢者医療について

問 安倍首相は、医療、介護など社会保障の全面改悪を打ち出している。区長は、区民の命と健康を守る立場に立ち、窓口負担2割や特例軽減の廃止等の改悪に反対を表明せよ。

答 国に要望していくが、一定

答 ボランティアを育成する朗読講習会を点訳講習会と隔年で開催。一層周知し、参加者拡大を図る。図書館所蔵の大活字本を地域区民ひろばへ貸し出すモデル事業を検討している。



子どもの読書活動

●椎名町駅と東長崎駅の駅周辺整備について

問 両駅周辺の整備状況と区の取組方針は。

答 椎名町駅周辺では、北口の商店街を中心に開発に向け動きがある。区として専門家の派遣を斡旋するなど、積極的に街づくりに関与していく。

東長崎駅周辺は、北口で長崎四丁目まちづくりの会が発足。南口は、土地所有者、警視庁など関係者に地元の要望を伝え、協議を重ねている。南長崎マンガランド構想も視野に入れ、案内サインの設置も考えている。



日本共産党 儀武さとる

の見直しは避けられないと考えており、反対する考えはない。

問 繰越金の活用、国庫負担の拡充により国と都に保険料の引き下げを強力に要請すべき。

●国民健康保険について

問 国保は社会保障。被保険者

に値上げを押し付けることは、社会保障の公的責任を放棄するもの。保険料引き下げのため、一般財源から繰り入れを行うべき。

答 多額の財政負担は大変困難。保険料引き下げのため、国庫負担の大幅な増額を求めよ。

問 今後も国へ強く要望する。

答 国民皆保険制度を事実上、空洞化させ医療を受ける権利をうばう短期証や資格証の発行は止めるべき。

問 公平性を図る観点から、必要な方策であると考えている。

答 国保の広域化は、都道府県単位に財政運営の責任を負わせ、医療費削減の競争に駆り立てられる仕組みをつくりあげるもの。国保の広域化により、保険料は上がるのか、下がるのか。

答 現時点で答えるのは困難。

●防災対策について

問 建築物耐震化は喫緊の課題。旧耐震基準の対象者に案内状を送付し、建築物耐震化助成事業の出前事業（説明、相談会）を開催し促進を図るべき。

答 不燃化特区の説明会や出前講座などの機会を通じて、助成制度の推進をする。

問 倒れた家屋から出火すると、燃え上がるまで発見できず、初期消火も困難。通電火災を防ぐため、感震ブレーカーの助成を

実施すべき。

答 木密地域への簡易型の感震ブレーカーの普及・設置を促進するため、新たな補助制度を検討する。

問 経済的な理由から住宅全体の耐震補強は、無理だという方には、家屋が倒壊しても一部屋の空間やベッドを確保し、生命を守ることでできる「耐震シェルター」等設置補助事業がある。要件が厳しく過去3年間実績がない。対象要件を緩和すべき。

答 助成要件にある所得制限の見直し、課題のひとつだと考える。



住宅への耐震シェルター設置

●公契約条例について

問 労働者への適正な賃金支払いなど、労働条件の確保、労働環境整備を受注者に要請していくことは区の責務である。今こそ、公契約条例を制定すべき。

答 現時点では制定の予定はないが、よりよい入札・契約制度に向けて研究を進めていく。

日本一の街豊島区に向けて、小さなことからコツと

●歴史と景観を大切にすまちづくりについて

問 歴史的建築物の取り扱いを含めた、区のまちづくりへの評価と今後の展望は。



自民党豊島区議員 松下創一郎

答 歴史的建築物活用の代表例として、雑司が谷旧宣教師館がある。郷土に根付いた文化的魅力を発信しており、これからも区民と連携して取り組む。

問 新防火規制地域内でも歴史的建築物の改築や補修を行い、残していくことはできるのか。

答 重要文化財や特定行政庁の指定する建築物は建築基準法が適用されない。建築物を残しつつ維持管理していくことは可能。

問 景観計画の積極的活用と今後の運用については。

答 景観形成への区民の関心をさらに高めるため、セミナー等で啓発を図る。今後は雑司が谷地区を4番目の景観形成特別地区に指定すべく、ワークショッ

●区民の幸せな暮らしとボランティアについて

問 区のコミュニティソーシャルワーカーの活動の現状は。

答 各区民ひろばにコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域住民や民生委員、児童委員、ボランティア等と、日常的に密接な関係を築いている。

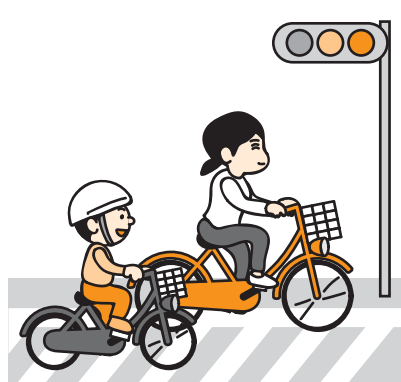
問 担当地域を細分化し、福祉の担い手ボランティアチームを新しく結成しては。

答 高齢者総合相談センターの担当エリアごとに設置された地域ケア会議で、地域の関係者が課題を自ら解決する体制を整えつつある。ただちに新たなボランティアチーム等を結成する段階にはないと考えている。

●子供たちの将来を見越したICT教育について

問 学校現場でのICT教育の現状と課題は。

答 22年9月に全小中学校に無線LANを整備したタブレットパソコンの導入を開始。27年5月からは全教室で電子黒板とタブレットパソコンを活用しており、現在1校あたり約70台配置している。配付台数の充実と情報モ



自転車の安全利用

ラルや情報セキュリティへの対策が、今後の課題である。

問 時代への対応として、32年度にはプログラミング教育が導入される見込みだが、区ではどんな準備を進めているのか。

答 「プログラミング教育に関する有識者会議」による提言が学習指導要領の改訂にどう反映されるかを踏まえ教育課程編成、指導法、研修等の準備を行う。

問 教員を対象とした準備は。

答 論理的思考を具体的な問題解決過程に置き換える力が必要。そうした発想法を身に付け、幅広い指導法として学習指導に活かせるよう、準備を進める。

●安全で快適な道路空間の創出について

問 目白古道のような生活道路が、自動車の抜け道とならないための方策は。

答 目白古道北に関しては一部で歩道拡幅やカラー舗装化等を実施。目白警察署とも協議し、区モデル的なコミュニティ道路となるよう事業を進める。

問 区内の自転車関連の交通事故発生状況と削減への取組は。

答 事故件数は減少したが、交通事故総数に対する比率は高い。高齢者研修や親子自転車安全利用教室等により、子ども、保護者、高齢者に自転車の安全利用を訴えている。

常任委員会

Q

A

総務委員会

開会日 9月9日(金)・16日(金)
案件 議案5件・報告6件等

都市整備委員会

開会日 9月20日(火)
案件 議案1件・請願1件・陳情2件・報告1件等

決算特別委員会

9月9日の本会議にて、平成27年度一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計の4会計決算を審査するため、18名の委員からなる決算特別委員会を設置しました。7日間にわたる質疑を行い、最終日の10月25日には、会派ごとに意見表明(要旨は8面)を行った後、採決を行った結果、いずれも賛成多数で認定することとしました。以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

議会費

●議会施設について
新庁舎で新しく整備された議会施設のポイントは。

●マイナンバーについて
申請数と交付数の状況は。
8月31日現在で申請数が3万8千335件、交付数が2万4千121件。対申請交付率は約63%。
●セーフコミュニティについて
なぜ区民ひろばが拠点か。
活動継続のためには世代間交流の拠点で、地域の方が自主的に運営している施設が最適。
●期日前投票所について
東武・西武デパートに期日前投票所を設置したが、廃止になった投票所もあるが。
●地域のバランスを考えたつ、期日前投票所のあり方、どうするかは選挙管理委員会に諮る。

総務費

●子育て支援について
産後サポート事業の概要

●環境清掃費
資源集団回収について
回収量の減少の要因は。
新聞の購読数の減少と町会

●福祉費
子育て支援について
産後サポート事業の概要

●環境清掃費
資源集団回収について
回収量の減少の要因は。
新聞の購読数の減少と町会

●福祉費
子育て支援について
産後サポート事業の概要

●環境清掃費
資源集団回収について
回収量の減少の要因は。
新聞の購読数の減少と町会

●福祉費
子育て支援について
産後サポート事業の概要

●環境清掃費
資源集団回収について
回収量の減少の要因は。
新聞の購読数の減少と町会

●福祉費
子育て支援について
産後サポート事業の概要

●環境清掃費
資源集団回収について
回収量の減少の要因は。
新聞の購読数の減少と町会

●福祉費
子育て支援について
産後サポート事業の概要

●環境清掃費
資源集団回収について
回収量の減少の要因は。
新聞の購読数の減少と町会

●福祉費
子育て支援について
産後サポート事業の概要

●環境清掃費
資源集団回収について
回収量の減少の要因は。
新聞の購読数の減少と町会

等の担い手の高齢化。

都市整備費

●大塚駅周辺整備事業調査経費
南口工事の進捗と今後は。
●池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

土木費

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

●橋梁の整備事業経費
橋梁長寿命化計画の進捗は。
●池袋大橋の一部、空蟬橋、池袋駅南交差西側歩道橋、南池袋一丁目歩道橋は完了。宮仲橋は今年度中に完了予定。
●橋梁再点検をの課題は。
●個々の結果に対する優先順位が課題。十分検討していく。

ページから一時金の申請方法等の確認ができない。改善可能か。

●関係部署と協議を行い、ライフイベントに沿ったページからアクセスできるよう検討する。

後期高齢者医療事業会計

●医療費の適正化について
ジェネリック医薬品の利用促進による効果は。

●要介護認定者数について
区の要介護(要支援)認定者の状況は。
28年8月末時点で、合計1万7千名で、そのうち、要介護1及び2の方が全体の約38%。

介護保険事業会計

●要介護認定者数について
区の要介護(要支援)認定者の状況は。
28年8月末時点で、合計1万7千名で、そのうち、要介護1及び2の方が全体の約38%。

決算特別委員会委員名簿

◎委員長 ○副委員長	
◎高橋佳代子 (公明党)	○磯 一昭 (自民党豊島区議団)
石川 大我 (社民党)	細川 正博 (自民党豊島区議団)
有里 真穂 (自民党豊島区議団)	村上 典子 (民主ネット)
清水みちこ (日本共産党)	根岸 光洋 (公明党)
辻 薫 (公明党)	池田 裕一 (自民党豊島区議団)
藤本きんじ (民主ネット)	小林ひろみ (日本共産党)
木下 広 (公明党)	竹下ひろみ (自民党豊島区議団)
本橋 弘隆 (自民党豊島区議団)	吉村 辰明 (自民党豊島区議団)
山口 菊子 (民主ネット)	垣内 信行 (日本共産党)

平成27年度各会計決算 に対する各会派等の

意見表明（要旨）

自民党豊島区議団

平成27年度一般会計並びに3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成する。歳入・歳出とも過去最大の規模となった一般会計決算は、様々な区民需要に可能な限り積極的に応えた素晴らしい決算であったと評価する。

款別に意見を述べる。総務費では、セーフコミュニティについては、来年の再認証に向けた万全な準備を。ワークライフバランス推進企業認定制度の周知とともに、働き方の意識改革を。福祉費では、各事業における切れ目のない子育て支援策を。都市整備費では、国の重要文化財に指定された鬼子母神周辺の無電柱化の実現を。文化商工費では、障害者スポーツの発展・振興のため、体育施設のバリアフリー化を。新ホールについては、区民利用時には十分な配慮を。教育費では、新築校だけではなく、既存校でも積極的な学校設備の更新を。小学校移動教室は、栃木県日光での実現を望む。

歳入について、狭小住戸集合住宅税は、今後の本区の住宅事情を展望した見直しを。特別会計について、介護保険事業会計では、自宅介護が必要な方への施策の充実と制度の周知を望む。今後の財政運営に当たっては、盤石な財政基盤の構築努力を継続し、効果的な財源投入の一層の努力を切に要望する。

公明党

平成27年度一般会計決算及び3特別会計決算の認定に賛成する。総括として、消滅可能性都市から持続発展都市への転換を図った事業展開を評価する。

【款別の主な意見と提案】

総務費

池袋消防団分団倉庫の拡充。感震ブレイカー助成実施。エリアWi-Fiの区内全域での整備。福祉・衛生費

待機児童ゼロへ引き続きの取組。児童相談所移管の早期実現。胃がんリスク検診の対象年齢の拡大。健康診断に内視鏡検診の導入。妊婦や歯周疾患の検診受診率の向上。

環境清掃・都市整備費

公園や区道の清掃や整備に献身的に活動しているボランティアへの支援強化。衛生と環境部門等が連携しての食品ロス削減の取組の推進。新たな居住支援制度の創設。国の結婚新生活支援事業の活用。

文化商工・教育費

体育施設の利用料値下げと時間延長。いじめ、自殺予防のためにもメディアリテラシーの充実。国民健康保険事業会計

レセプト分析、データヘルスを活用して医療費の抑制努力を要望する。最後に平成29年度より新公会計制度の実施で、一層安定した財政運営に結びつくよう期待する。

日本共産党

15年度一般会計並びに3特別会計決算の認定に反対する。

第一に深刻な区民生活を支えるものになっていない。認可保育園の増設は待機児童の解消には不十分。二カ所の特養ホームを新設したが、待機者は増え63名になったのにさらなる増設計画はない。公営住宅等の建設は拒否。就学援助など子育ての負担軽減が不十分。建築物耐震化助成事業の執行率が10%と低い。地域活動支援センターへの補助は拡充せず。商店街のシャッター通り化や公衆浴場の激減への効果的な対策もない。

第二に住み続けられる街づくりになっていない。旧庁舎跡地等の大型開発は区民のためではなく、来街者集客のため。道路建設の強行は、住民追い出しになる。公衆トイレの老朽化、汚れ等がひどく維持管理が不十分。第三に区民の生活を守る財政運営になっていない。過去最大規模の決算というが、区民の生活はよくなっていない。やるべきことをやらずにためた財政調整基金の残高が25億円。さらに多額の基金も大型開発につぎ込もうとしている。

保険料等大幅な区民の負担増を進めた国民健康保険会計、後期高齢者医療会計、サービスを削減する総合事業をすすめた介護保険会計も認められない。

民主ネット

平成27年度一般会計、3特別会計の認定に賛成する。新庁舎開設という転換期の大型決算であり、旧庁舎跡地の76年間の定期借地権による191億円は、区民の大切な財産である。基金の安全で有利な運用を望む。税制度が区の財政を圧迫、国に積極的に具申すべき。事業別では、平和、人権に関する企画開催を。民間業者へのパトロール委託効果を検証すべき。新庁舎は常に使いやすく効率的な運営を。病後児保育事業を使いやすい制度に。ひとり親家庭に必要な情報が届くよう努力を。子どもスキップのスタッフの研修の充実を。増加する予防接種への対応を丁寧な。羽田空港増便計画による上空低空飛行ルート案は区民の安全を守るためにも国に対して丁寧な説明を。放射性物質対策、土壌汚染対策を十分に。地球温暖化阻止をするためにも緑を増やし、資源循環を進め、石けんの使用等環境都市豊島をリードすべき。住宅修繕リフォーム助成事業を利用しやすい制度へ。目白古道、旧高田小学校跡地の整備計画の推進を。国際アート・カルチャー都市構想を全庁をあげて実現を。いじめの背景にある子どもたちの状況に丁寧に対応すべき。今後も、きめ細かい歳入の確保と増分主義会計でバランスある財政運営を望む。

社民党

社民党石川大我は、「人権や平和、弱い立場にある人の視点を大切にする区政を」に重きを置き審査し、2015年度一般会計、3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成。以下を要望する。議会傍聴席におけるバリアフリー化については、新導入システムの周知について工夫を。「禁煙レストランとしま」の取組は巣鴨など他地区へも拡大し、商店街等へ協力要請を。地蔵通り無電柱化は街路樹を植える等で木陰の創出を。舗装の工夫等で都電駅方向への回遊性を高める施策を。高岩寺裏トイレは臭いを改善できる塗装を。学校で復活実施した色覚検査は差別や偏見があった経緯を教員が理解し、プライバシーへの配慮を。当事者児童・生徒の将来、未来を拓くような指導を。新ホール整備事業は、区民優先席で区民が優先的に公演を鑑賞できる仕組み作りに努力を。区内宿泊施設が違法に同性同士のダブルルーム利用を拒否した事案は、「旅館業法違反0」を目指し業者に指導、助言等を。同性カップルが区営住宅に入居できない問題は条例改正で実現可能との答弁。改正すべき。区長は「同性カップルは家族」と明言。豊島区における「家族」の定義には同性カップルも含まれる。関係各所は改めて配慮を。